

# aiのアルバム

prologe

7777ai ai



はじめまして・・・♪♪

---

みなさま こんにちは。

気ままに撮った風景、そして数年前に出会った  
天地真理さんのおしゃれな歌の世界を、  
小さなことばで綴る 趣味のアルバムです。

フルートの音色のように優しい真理さんの歌声は、  
まるで天からの贈りものよう・・・  
のびやかなファルセットのシャワーは、心と体に効きますよ～♪  
少しでも寛いでいただけたら、幸いです・・・ ☆





あなたから届く手紙は、この世界で想像できる、あらゆる輝きに値するもの—

「この広い野原いっぱい」 カバー曲

天地真理さんの、歌ごころの源泉を思わせるナンバーです。  
彼への純粋な想いが、無限大の祝福へと高まっていきます。  
暖かく透き通った歌声を通し、聴き手は豊かなイマジネーションの世界へ

晴れやかな倍音の光。春の光を想わせるその声には  
個人の枠を超え、澄んだまなざしで世界を包むような大きさがあり、  
私たちにとって 歌とは何か、理屈抜きに 答えが呼び起こされそう・・・

ありがとう・・・

遠くにいても、あの日のあなたのぬくもりに 包まれているのです



そよかぜのリボンに包まれた、ふたりのアルバム。

時々そっと開いてみるの・・・

クラシックの調べを想わせる きれいなイントロは、  
澄みきった空に吹く 風のイメージ。

おもいでがそよそよと 紐解かれていきます

まだやわらかい若葉のように、夢をみていたあの頃の私。

不安な時、あなたはギターを弾いてお気に入りの歌を聴かせてくれた・・・

時々ふっと心に甦るメロディー

思い出の糸をたどれば、その優しい横顔が見える。

今もずっと、あなたの純粋な愛に守られているようだわ。

毎日のように歌を聴かせてくれた、かつての親友への懐かしさと  
時が経ち、今あらためて感じる、彼の大きな優しさへの感謝に満ちたひと時。  
心のスクリーンに映る、青空の輝きを抱きしめるような  
高らかに澄んだ歌声は、天にまで届きそうー

空虚な思いに沈みがちな現代の私たちにとって  
心の復興を静かに支えてくれる、いたわりに満ちたナンバーだと感じます。



「ある恋の感想」

偶然再会した 彼とのひと時—  
戸惑い、ときめき、安心・・・  
時間の経過と共に変化する 女性の心もようを  
しっとり、また 爽やかに聴かせる、  
真理さんのセンスが光る歌。 とても共感・・・♪

## 天地真理さん

---

天地真理さんの歌が大好き。

純白の歌声・・・その響きは、真綿のように柔かくしなやか。  
聡明な美しさで聴く人を包みます  
今も愛される作品は、時の流れを感じさせない、旬の輝きの宝庫。  
豊かな感性と潤いに満ちた世界です

私たちの日常は言葉と共に織り成されてゆきますが、  
1音1音、日本語の発声の美しさが際立つ 真理さんの歌は新鮮。  
その響きは、心の奥につながる癒しの世界—  
人の温もり、人と人が助け合う尊さを実感するこの時、  
優しいまなざしで語りかけるように  
純粋な愛を注ぎ続ける名曲たちは、  
心を結ぶ絆として大切な使命を果たすことでしょう。

倍音の響きの豊かさ  
温かく厚みのある ファルセット  
ほのぼのとしたぬくもりで聴く人を包み、心の景色を  
穏やかに幸福感へとつなげる 歌のパワー。

自分を見失いそうな時、安らぎが欲しい時・・・  
忘れかけた太陽の香りを そっと運ぶ  
春のそよ風のように優しい 真理さんの歌は、  
かけがえのない 真の心の友に。







天地真理さんの歌は、日本人が守り育んできたもの、  
それを受け継いでいく喜びに気づかせてくれます。  
根底を貫く一音一音の発声の美しさ。 歌詞、メロディーとの高い調和。  
声質の豊かさが成させる技に、心洗われる瞬間ー

懐かしさと温もりに満ちた歌声は、何層もの繊細さが織り成す世界。  
淡い深みを持つ「和色」の色彩が連想され、調和を尊ぶ 和の美学へと  
想いが広がっていきます。

すべてでひとつ・・・  
それを連想させるような 豊かな潤いに満ちた声だな、と感じます。









「京都でひとり」

やわらかく儚げな真理さんの歌声と、  
しっとりとした "和"の風情が調和するひとときです。

静寂の境内に佇んでふっと涙ぐむ、女性の吐息が伝わってきそう。  
ひとり旅の途中で、胸にこみ上げてくる想い・・・  
そばにいると見えなかった、彼の存在の大きさに気づく瞬間のものがたりです

感情の高まりをしとやかに歌い上げた、  
天地真理さんならではの表現力が映える、名曲だと感じます。

歌詞から連想される 古都の透き通った空気が  
そのまま 真理さんの魅力の側面をひき立てており、  
情感豊かなメロディーにのせて、  
次第に研ぎ澄まされていく 主人公の胸中が  
新鮮に、繊細に描かれています。





歌の真髄は、生命（いのち）を灯す力  
どの瞬間にも、いのちのリズムを高めるカー

いたわりに満ち、心に溶け込むような真理さんの歌声から  
すべてを包み育む、高次の愛の世界を思い浮かべています・・・  
それはこの上もない安らぎと、信頼を呼び覚ます鼓動。  
何かをコントロールしようとする力とは、全く異なる次元。

#### 「オレンジ色の旅」

潮風の優しさ、夕陽のぬくもりに身を委ねていたら、  
あなたへの恋しさで胸がいっぱいになったの・・・

愛する人への、一途で暖かい情熱。  
真理さんのファルセットは 極めて高い透明度を感じさせ、  
燃えるようにキラキラと、オレンジ色の光彩を深めていく  
夕陽の情景とかさなり合って、  
数分間の歌の世界に、とろけるような幸福感が生まれていきます

## 「オレンジ色の旅」

---

海辺にひとり、旅の夕暮れ

見て・・・夕陽に染まって、大空と渚がつながっていくわ



潮風につぶやいてどうするの・・・

こんなに勇気をくれる 海のドラマを、  
あなたはいつも見ていたのね

透き通るような オレンジの光ー  
とても、懐かしい光

なぜ、風はこんなに優しく吹くの？  
私の想いを ぜんぶ知っているかのように・・・

深遠なオレンジ色の光に、彼への想いをかさねる女性。  
温かく透明感あふれる歌声から、波打つような胸の鼓動が聞こえてきます。

燃えるような夕陽との一体感、その光に包まれた主人公の瞳の輝きまで

鮮明に伝わってくるようです。



阿蘇くまもと空港 上空

70年代は、人や社会の価値観が変わりゆく過渡期。

歌が「時の手紙」だとしたら、

「水色の恋」を胸に舞い降りた天地真理さんには  
どのようなメッセージが託されたのでしょうか。

オーディションで歌った「アザー・ワイズ」

空・海・大地ー この世界の営みの神秘に心はずませる  
純真な少女が現れます。

カバー曲 「恋は水色」 創造の起源である、水色の世界。

青い海と 水色の空が  
愛し合って ひとつに結ばれる  
恋は水色 空と海の色・・・

レコードデビュー前には、フレッシュなギターで水色への憧れを歌っています  
柔らかく伸びやかな歌声は、漣健児さんの美しい訳詩との調和度が高く  
水色が映し出す透明感、躍動感、また深い安らぎが伝わってきます。

歌に発揮されていた 豊かな倍音、その音域の広さから、  
空と海の 澄みわたる光景が、すぐ目の前に広がっていくようです



### 「水色の恋」

デビュー曲「水色の恋」は  
"さよならの言葉さえ言わなかったの" という歌詞で 始まります

水色は「和」の象徴。一つだったものが隔てられていく哀しみ。

たとえ姿が見えなくなっても  
あなたと私は 水色に溶けあっていた記憶で 結ばれている・・・  
ひとすじの祈り、ひとしずくの涙。

ライブでの熱唱は、  
現代の私たちが、日本語の響きの美しさを  
最上のレベルで再認識できるほど研ぎ澄まされており、  
歌声が清純の極みに達すると、人々は神聖な感動と共に  
強い一体感で結ばれます。

透き通るような光に満ちた、水色の歌声—  
一瞬の輝きの中に、日本人として、かけがえのない宝を持っていた歌手  
天地真理さん・・・



### 「虹をわたって」

雨が上がり、空にはきれいな虹  
虹の向こうにあなたがいる・・・  
この七色に輝く 虹のように  
あなたへの愛で 満ちあふれている私。

音楽は、時代も 国境も、あらゆる価値観の違いも超える万能の言語。  
幸福感を生む 倍音のバランスに優れ、人の内面の世界との共鳴度が高い  
真理さんの歌は、安らぎと希望を求める 現代社会の貴重な資源といえます。  
その歌声は 包容力と自然体のエールに満ち、  
聴き手の感性と繋がって精妙な癒しに。



「ひとりじゃないの」

躍動感と優しさに満ちた、真理さんの歌声。

まるやかでほんのり甘い、天然自然のお水を味わうように  
その声を聴くと、心とからだが和らぎ、癒されていくようです。

この歌には、一切の作為のない素肌の心地よさがあり、  
今、私たちが置かれている、根本的なリセットの流れの中で  
忘れかけていた原点のぬくもりー "ひとすじの記憶の光" を  
心に呼び覚まし、人々を繋ぐ力を持つように観じます。

くじゅう花公園



自らの愛を捧げ尽くした人へ、心のなかで語りかけるような歌。

内に秘めた想いは、やがて切実な叫びを帯びていきますが、  
透明感のある柔らかいファルセットは  
主人公の哀しみや無念の感情を過度に強調せず、  
全体を通し清らかで上品な仕上がりに。

繊細な静けさに満ちた涙、抑えられない哀しみ、  
そして 絞り出すような決意が  
秋から冬にかけて吹く、冷たい風を連想させる  
儂げなメロディーの中に、こんこんと伝わってくる印象です。

忘れないわ・・・  
きらめくような ひとときを。





「私が雪だった日」

ラストシングル「私が雪だった日」では、  
万象に変化する 白い雪の意識になって、過去を回想する表現に。

雪は「儚さ」の象徴。儚く消えた運命の果てに・・・ ラララ・・・  
旅路にひるむ人々に、微かに聴こえる子守唄。  
雲の隙間から水色の空・・・  
雪解けの日の再会を予感させて、真理さんは一つのサイクルを終えています

南阿蘇 久木野



時を越え今、自然界への憧れは、動揺と畏れに変わりましたが、同時に 純粹無垢なエネルギーに 社会や人がこれほど素直に感応する時代はないといえます。

長く封印された真理さんの歌が、  
時のサインに応えるように堅い殻をやぶって世界へ・・・  
それは手紙。 愛のしずくが 乾き切った心に  
生まれた我が子を抱くような優しさを 想い込ませてくれます。

歌に 清純な息吹を吹き込む、天地真理さん。  
新しい命へ贈る「子守唄」を書いていらっしやると聞き、  
この方はどこまでも「おかあさん」、  
「母」という天職を授かった方なのだなあ・・・て。

深い安らぎと一体感に包まれる「水色の恋」は、  
変わりゆくものすべてを慈しむ 愛の歌。  
混沌の世界へ踏み出した人々の影を抱き、水色の次元への回帰をねがう  
母のくちづけ・・・ ちょっとオーバー？（笑）

空いっぱいの幸せ！

---



やまなみハイウェイ

清く澄んだ空、光り輝く海 —  
こんなにも大きな愛に抱かれた、あなたと私  
二人の未来の夢は 今、  
目の前に広がるこの道を、幸せのサインで照らしてくれる  
青い空と 海の息吹きに 溶けこんでいくの・・・

瞬間の煌めきを描く 天性の表現力を観じながら  
あらためて、この時代に光を放つ歌だなあ、と実感。

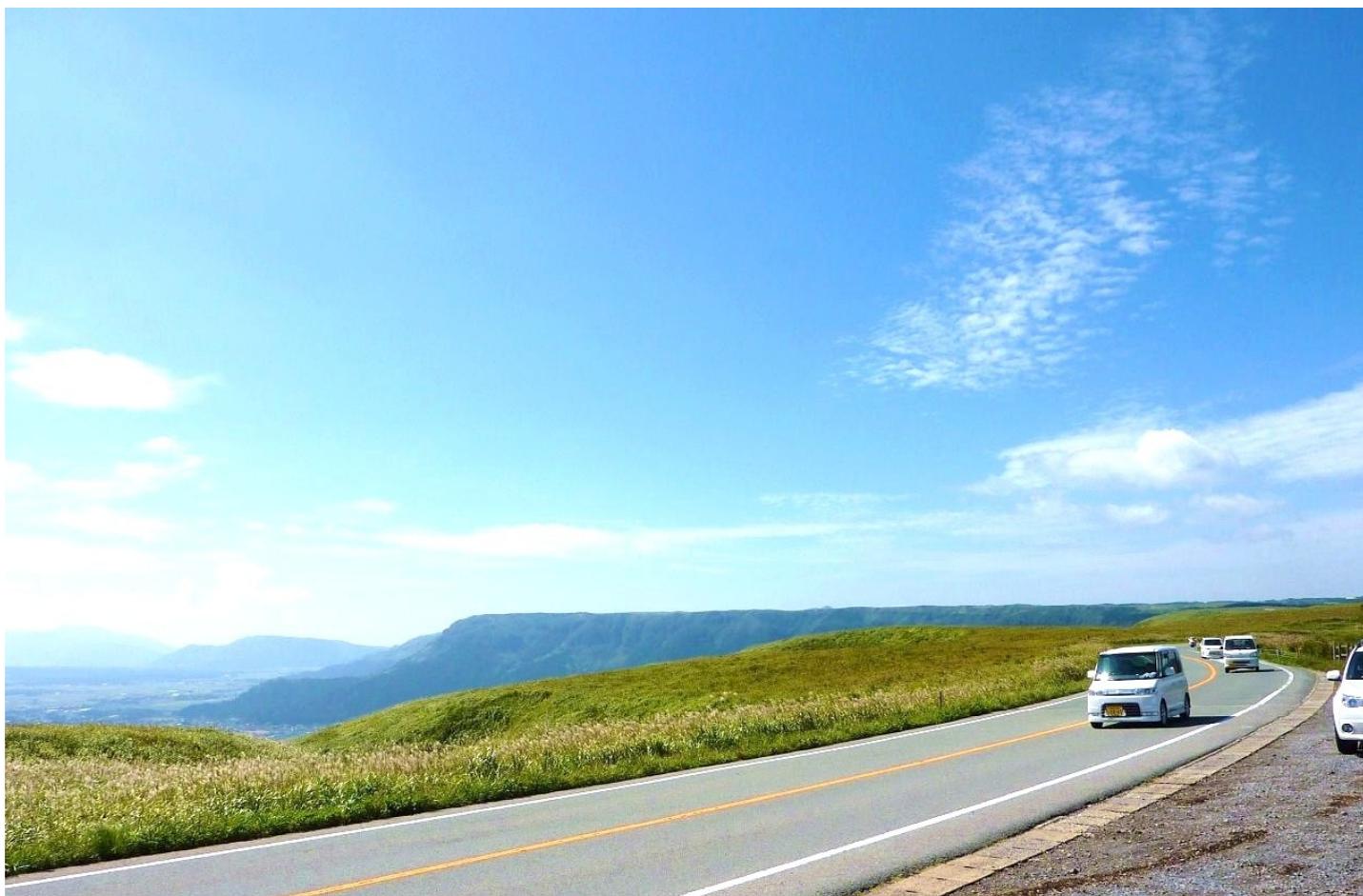
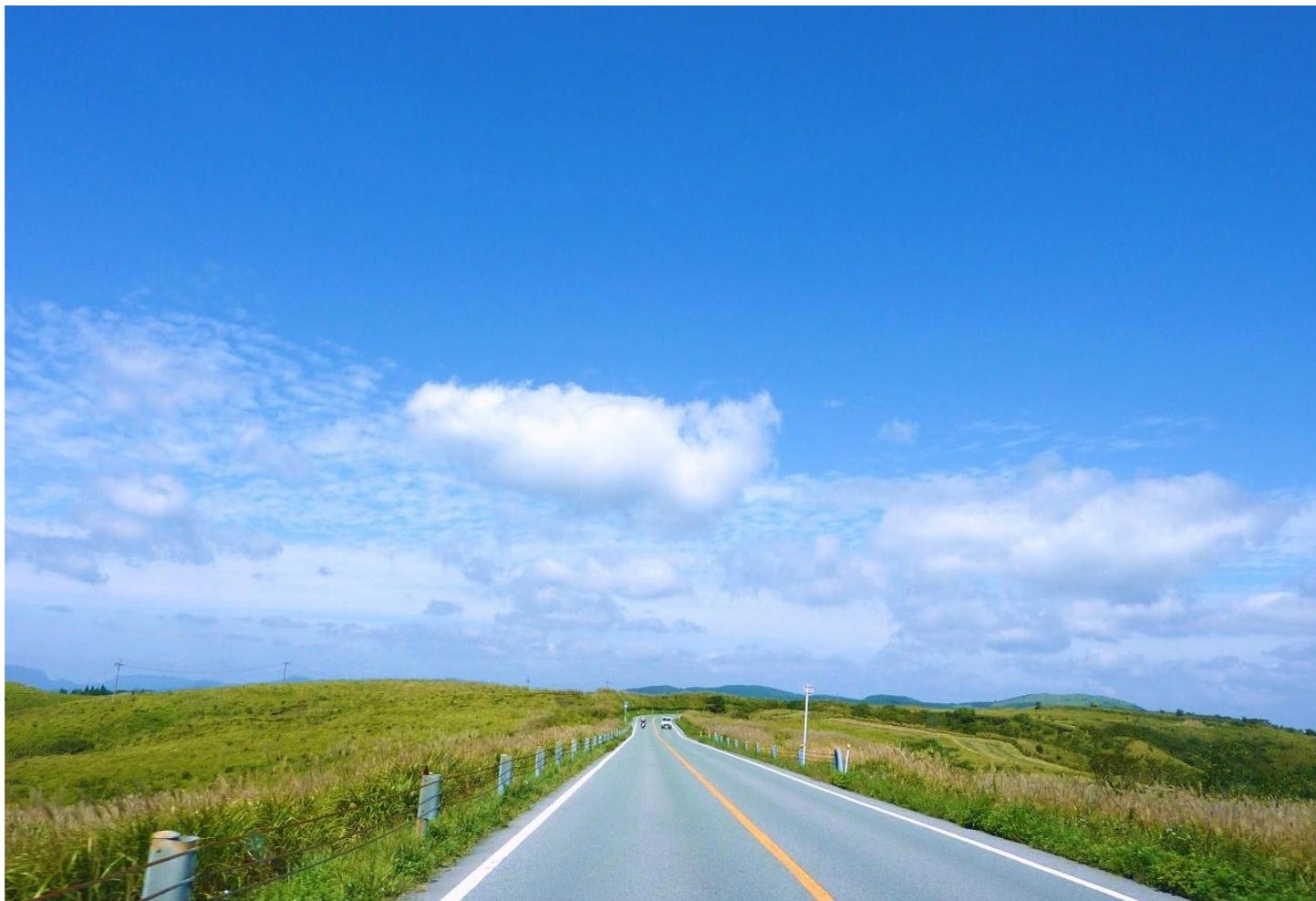
” あなたと私のために  
世界は 愛と夢とに いつもあふれてる”

歌声における純度の高さが、人々の心に  
無条件の幸せや、  
みずから祝福の中に存在する、という感覚を呼び覚ますこと。  
天地真理さんの作品の多くは、  
自然に人を包む 優しさと親近感、そして  
どこか次元の異なる、凜とした透明感が共にある世界です。

あらゆるもののなかに  
最上の歓びと、信頼を表現する 虹色のファルセット。  
どの時代にあっても、人々の憧れであった  
海のような深さ、空のような広がり  
繊細に、あたたかく響かせる音色・・・

"あなたと私の道は つづくの  
今日も明日も いつもどこまでも"

この愛らしいナンバーに耳を澄ませると、  
真理さんの歌を織りなすものの豊かさが  
滔々と胸にしみわたっていく感じです \*:.°



阿蘇ミルクロード







悠大な 自然の息吹が、気づかせてくれた。  
心の平和の礎は、まず何よりも  
自らの 時間を粗末にしないことだと

渾身のファルセットから届く、誠実であたたかい鼓動  
人を敬い、祝福で包むような歌声に心が照らされてゆく。  
この人の歌を想うだけで、  
透き通るような気持ちと、大切にされる幸せが 溶け合う・・・

授かった癒しは  
夢を描きながら、毎瞬毎瞬  
真理さんが全力で輝かせた、すべての時間からの贈りもの。



## 「あなたの故郷」

---

ファンのお一人が、  
天地真理さんの世界を“歌のゆりかごのよう”と表現されましたが、  
この歌は、癒し効果の高い真理さんの作品の中でも  
特別な愛らしさと、ぬくもりを醸し出しています。

心の瞳にうつる、彼の故郷の光景。  
その一つ一つに、やわらかい光を降りそそぐような歌声は  
彼を育ててきたものすべてへの愛しさに満ち、  
乾いた心をふっとゆだねてみたくになります。

清流のせせらぎのように 優しく懐かしい、ゆらぎのリズムは  
聴き手の内面に、幼子の無垢な寝顔を見守るような  
ほのぼのとした愛を感じさせ、  
孤独を感じたり、安らぎを求める人々の心に  
安心や幸福感が、無条件の信頼から生まれることを教えてくれます。  
まさに 歌のゆりかご

真理さんでなければ 届かないと思われる、素直で豊かな世界・・・  
聴くたびに、比類なき透明感を体験できるナンバーです。



くじゅう花公園前



「ギターをかかえて」

あなたが口笛で 聞かせてくれた歌よ  
愛のこの歌 私もおぼえたの  
このつき会えたとき 歌ってあげましょか  
心の想い ひそかに込めながら  
いつかはあなたと 同じ屋根の下  
星降る夜 声を合わせ歌いたいのよ  
その日が来ることを 私は願いながら  
ギターをかかえ 歌っているの

純真な気持ちと、シンプルなメロディーが結ばれて  
とてもほのぼのとした歌に仕上がっています。  
好きな人との未来を連想し、幸福感をふくらませていく女性。  
その可憐さに 惹き込まれてしまいそう・・・

## 恋する夏の日

---

### 「恋する夏の日」

朝が訪れるたびに、心ときめく私。

いつものコートで、二人 同じ時間を過ごせるから・・・

白い朝もやの残る道。

向こうから あなたの自転車が見えてくると、幸せで胸が一杯になる  
まわりの木立ちも、嬉しそうにそよいでる。

並んでベンチに座って

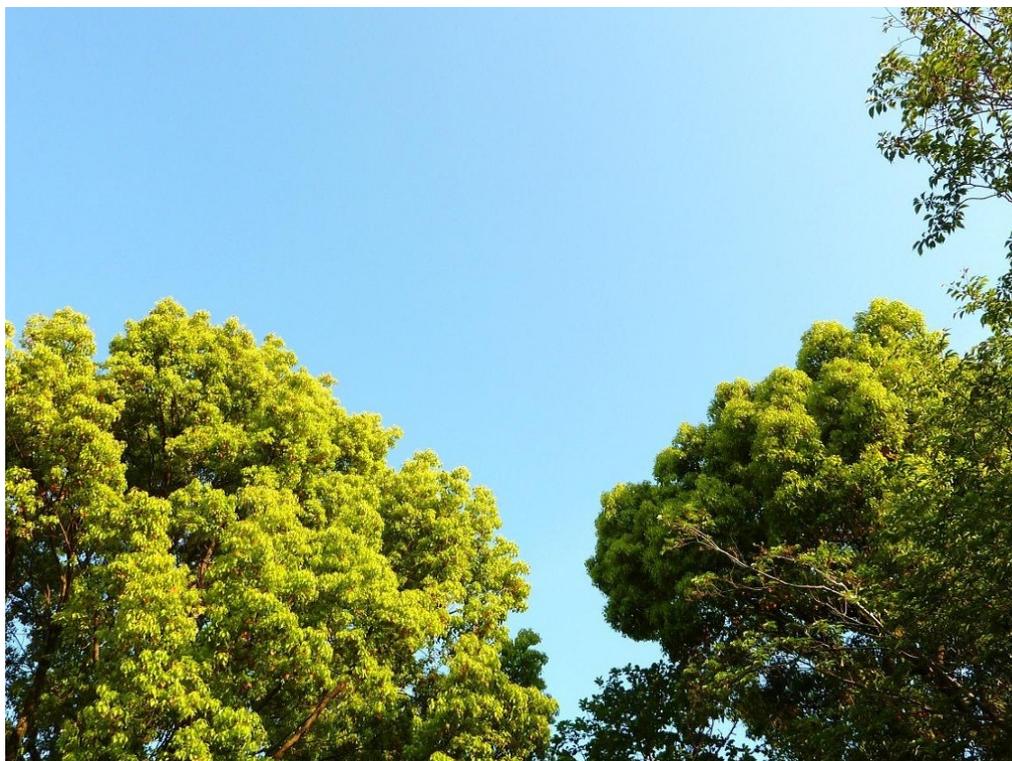
汗を拭くあなたの横顔 そっと眺めていたら

風がね、くすくす笑って ささやくのよ

"時間をとめてあげる・・・" て。

そうだったら、どんなに素適でしょう

こんな気持ち・・・ はじめて。



自然に高まっていく、女性の幸福感が描かれたナンバー。

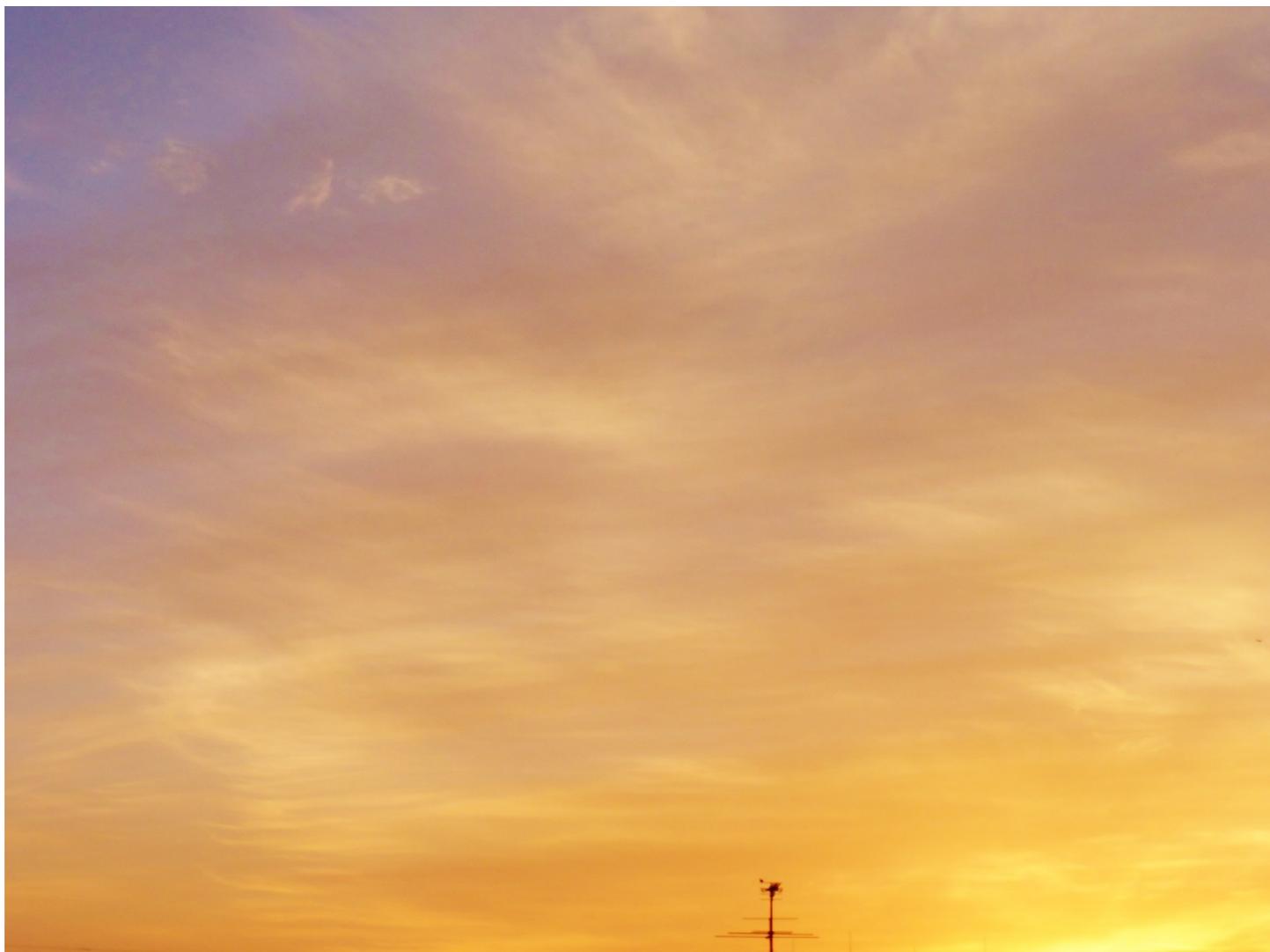
やわらかく瑞々しい歌声に、ほのぼのとした光景が浮かんでいきます。



「あの素晴らしい愛をもう一度」

透明度の高い歌声は、人の本来的なねがいを呼び覚ますのでしょうか・・・  
心が平和であること、共により良く生きていくことの喜び。  
力を込めず、そよ風で包むように そっと気付かせてくれます。  
真理さんの宝であるその純粋性は、カバー曲でも存分に発揮されています。

サルビアとマリーゴールドの花壇　くじゅう花公園



天地真理さんのファーストアルバムを彩るナンバーの一つ。  
真理さんの大きな魅力である、ソフトな透明感が際立っています。  
どことなく懐かしい、木漏れ日のような温もりが、  
歌全体に品良く溢れた 絶品のカバー。  
相手の心に、澄んだ空気をそそぐような、優しいハーモニー。  
メロディーと共に織り上げる、一音一音の響きのなかに  
歌手として、のびやかに飛翔する未来が広がっていくようです。

再誕生の場所に辿りついた喜びー  
夜明けのまどろみのなかで、  
最愛の人と、未来への想いを分かち合うこの歌には  
現代の私達が願う求める、心の復活と信頼の絆が描かれており、  
やがて昇る朝日とともに、すべてを刷新する決意が伝わってきます。

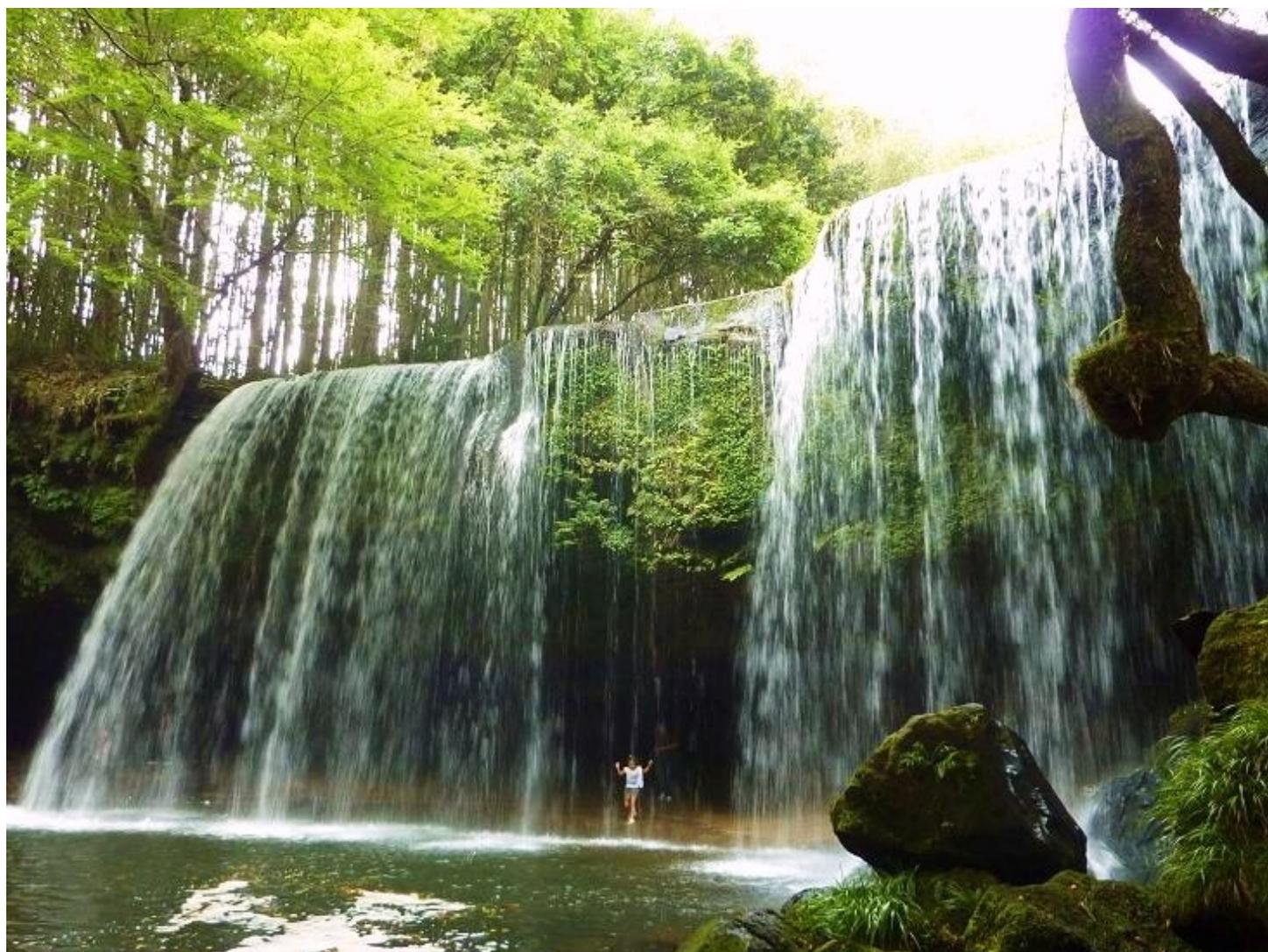


### 「ミモザの花の咲く頃」

真理さんの歌の中で 一番好きなものを選ぶとしたら、  
愛が叶えられた瞬間の輝きと、至福の想いに満ちた この歌。

そのハートフルな歌声の魅力がほのぼのと伝わり、  
虹の光を表すような、明るく清らかな旋律に心癒されていきます

そよ風の清々しさ、優しさを感じさせる 自然なビブラート  
立体的な響きを持つ、聡明なファルセット。  
透明感と厚みが織りなす、豊かな声のグラデーションは  
若い生命の息吹きに、満ちています



鍋ヶ滝 （ 阿蘇郡 小国町 ）



「君よ知るや南の国」 天地真理さん

きっと訪れる愛の成就を心に描いて・・・  
幸せへの決意。こみ上げる幸福感が、時を超えて伝わってきます。

音楽と一体となって、聴き手の胸を震わせる歌声は、  
天地真理さんのナンバーのなかでも最も力強く、  
歌手としての誇りに満ちたものだったと感じます。

歌は愛。生きるよろこび。平和の絆。  
すべてが幸せに続く道—  
葛藤をこえ、青く澄んだ空のような清々しさが、いつまでも心に残る、  
貴重なミュージカルでの熱唱。  
真理さんの歌声に含まれる、倍音の豊かさ、音域の広さに  
聴く人の内面の世界も、潤いと幸福感の高まりを実感できる作品です。

一音一音を尊ぶような真理さんの歌唱から、  
歌うことへの真摯な姿勢が、自然に伝わってくるナンバー。

愛する人の内側に灯る、命の炎への信頼。祈り。  
主人公の清く澄んだまなざしを連想させる表現力が、  
ご自身のファルセットを虹色に輝かせています。  
すべてを抱きとめ、育み続ける、豊かな母性の音色・・・  
透き通るような想いの世界に、心うたれるひと時です。

その歌声に接するたび、  
心が温もり、素直な前向きな気持ちが蘇ってくる。  
自由自在にイメージ展開できるやわらかさがある。

包容力とは、作品の透明度の高さに比例するのでしょうか。  
透明度の高い歌の発信とは、  
こだわり、という個人の色を印象付けないということ。  
懐かしさと開放感、他のあらゆる個性と  
創造的に解け合っていく大きさを持つこと。

音楽が自然に、相手の最も純粋な世界の扉を目覚めさせてゆく  
静かに眠っていた資質が、照らされてゆく

真理さんの歌は、  
透き通った世界が自分のなかにあることを教えてくれます。  
「明日への愛」は9枚目のアルバム収録曲ですが、  
ファーストアルバムの段階で、すでに桁違いに成熟した  
自然体の包容力を発揮されていたこと、  
それこそが、多くの歌手と一線を画す才能であり、  
長く閉ざされていた心さえ、瞬時に溶かす力を秘めている  
愛に満ちた世界だということに気づきます。

いのちの糧と呼べる、本質的なものが求められる時代だからこそ  
天地真理さんの歌に、人は尊い光を見出すのかも知れません。









天地真理さんのアルバムにおいて、その内容の完成度が、同時代に評価される機会は少なかったといえますが、今の時代は、幸せの定義が大きく変わり、人と歌との関係も再認識される中で肩のこらない優しさ、ピュアな懐かしさを感じさせる歌が、癒しのエッセンスとして高く支持されるように。

人々の心に、ぬくもりという贈り物を届けてくれる 真理さんの歌。その尊さをあらためて実感する日々です。

時のトンネルを越えて、おだやかに輝く歌の光。  
真理さんは、何を発信されたのでしょうか、  
そして、今 何が生まれているのでしょうか・・・

想像の旅が 続きそうですー

## 開花のとき

---

人と人が出会って、生まれる夢  
その瞬間の熱意 想像力 創作の歓び

時の花壇に蒔いた、芸術の種が  
すべてを超えて  
しなやかに花を咲かせる日・・・

その日は、誰にも予想できないけれど  
そこに内包された夢が、人々の意識と最も深く呼応する時代に、  
芸術は最大の真価を発揮することを観じます。

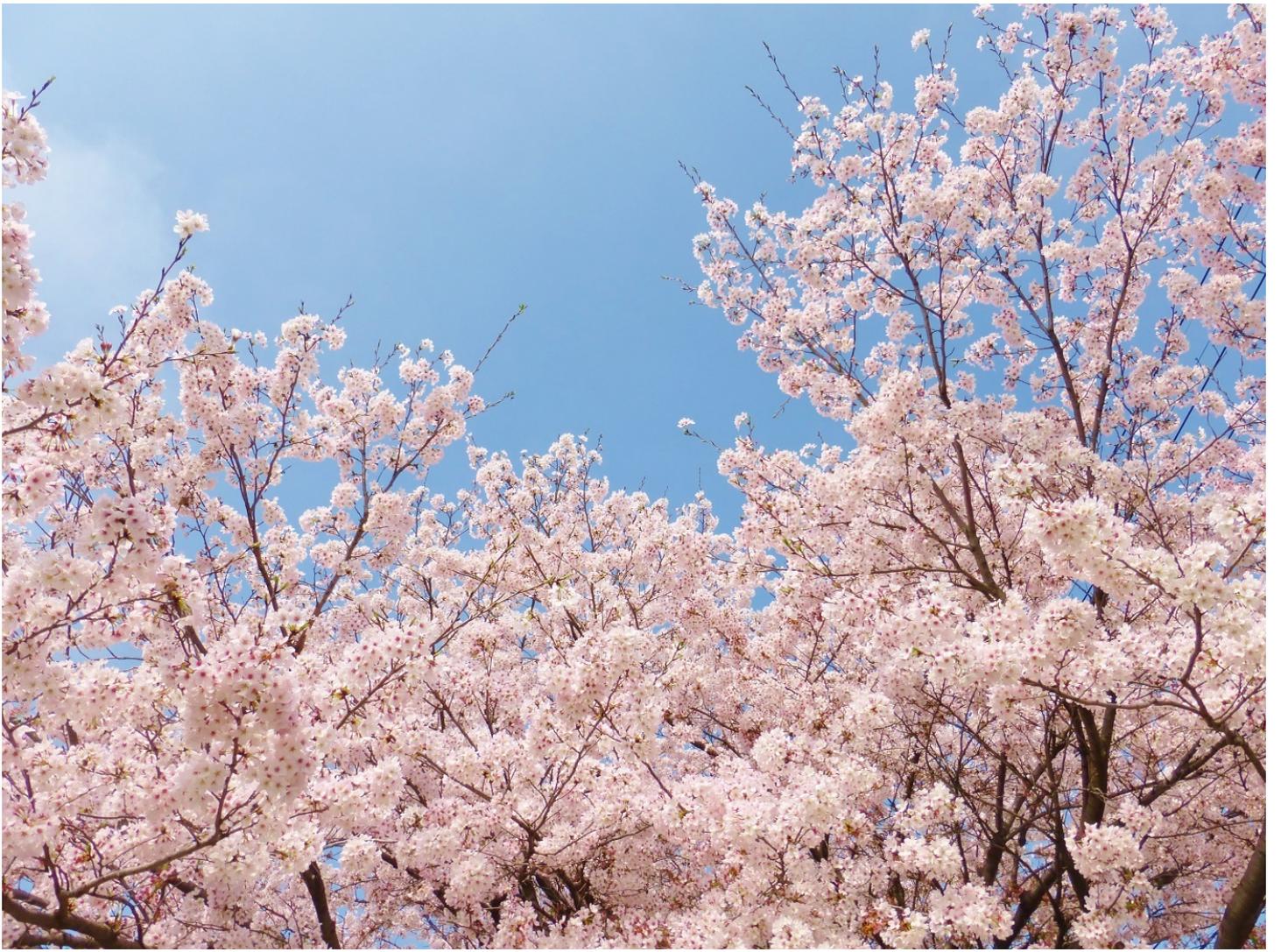
約束の日は  
また新たな、人と人とのつながりによって訪れることを、  
愛する喜び、その清らかな青春の息吹に満ちた  
天地真理さんの歌に学びながら、  
このアルバムをまとめました。

心に潤いを授け、希望の光をそっと灯すような、天地真理さんの歌。  
そのぬくもりがそよ風のように、  
この時代を温かく包む日が今だと感じています。

末永く、心の友として  
本書を皆さまに眺めていただけたら、幸いです・\*:・°







ありがとう !!

---



## ai のアルバム prologe

<http://p.booklog.jp/book/44239>

著者 : 7777ai

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/aiyuki/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/44239>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/44239>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ